



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 沖縄銀行 上場取引所 東 福
 コード番号 8397 URL <https://www.okinawa-bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山城 正保
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 佐喜真 裕 TEL 098- 867- 2141
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満は切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,606	1.4	5,338	0.4	3,267	1.5
2020年3月期第3四半期	38,154	3.7	5,362	17.7	3,319	21.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,923百万円 (1.9%) 2020年3月期第3四半期 4,827百万円 (132.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	137.28	137.01
2020年3月期第3四半期	139.22	138.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,656,725	162,371	5.9
2020年3月期	2,300,832	159,118	6.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 159,348百万円 2020年3月期 156,169百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出してあります。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		35.00		35.00	70.00
2021年3月期		35.00			
2021年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,700	6.7	5,500	32.2	3,300	40.5	138.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	24,240,000 株	2020年3月期	24,240,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	441,792 株	2020年3月期	442,634 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	23,798,240 株	2020年3月期3Q	23,843,288 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 追加情報	7
(6) セグメント情報	7
(7) (参考) 四半期信託財産残高表	8
3. 補足説明	9
(1) 損益の状況【単体】	9
(2) 預金等、貸出金の状況【単体】	10
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	12
(4) 有価証券の評価差額【連結】	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、株式等売却益が増加したものの、その他受入利息の減少などにより前年同期比5億48百万円減少の376億6百万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損が増加したものの、預金利息及び貸倒引当金繰入額の減少などにより前年同期比5億24百万円減少の322億68百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比23百万円減少の53億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比52百万円減少の32億67百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前連結会計年度末比3,558億円増加の2兆6,567億円、純資産は前連結会計年度末比32億円増加の1,623億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金は、これまでの個人預金を中心とした取引推進、法人取引先へのSR（ストロングリレーション）活動による取引深耕・従業員取引の推進に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う法人・個人の手元資金確保の動きにより流動性預金が増加した結果、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比2,518億円増加の2兆3,151億円となりました。

貸出金は、これまでの生活密着型ローンの営業強化による住宅ローン・アパートローンの推進や、中小企業等に対する事業性評価に基づいた融資推進に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に対し中小企業等への積極的な支援に取り組んだ結果、銀行・信託勘定合計で前連結会計年度末比371億円増加の1兆6,775億円となりました。

有価証券は、国内債券及び投資信託等を中心に、金融市場動向を睨みながら資金の効率的運用に努めた結果、前連結会計年度末比504億円増加の4,212億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月6日に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	200,622	466,072
買入金銭債権	594	602
金銭の信託	1,334	1,670
有価証券	370,755	421,213
貸出金	1,639,331	1,676,602
外国為替	4,712	4,695
リース債権及びリース投資資産	19,032	18,286
その他資産	41,616	46,049
有形固定資産	19,540	19,068
無形固定資産	2,040	2,418
繰延税金資産	2,042	1,329
支払承諾見返	7,818	7,656
貸倒引当金	△8,608	△8,942
資産の部合計	2,300,832	2,656,725
負債の部		
預金	2,043,498	2,298,686
債券貸借取引受入担保金	2,587	—
借入金	45,508	147,064
外国為替	111	21
信託勘定借	18,742	15,503
その他負債	17,130	19,473
賞与引当金	761	202
役員賞与引当金	28	20
退職給付に係る負債	3,546	3,462
役員退職慰労引当金	28	31
株式報酬引当金	108	100
信託元本補填引当金	22	39
利息返還損失引当金	33	34
睡眠預金払戻損失引当金	269	246
特別法上の引当金	5	5
繰延税金負債	315	607
再評価に係る繰延税金負債	1,197	1,197
支払承諾	7,818	7,656
負債の部合計	2,141,714	2,494,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
資本金	22,725	22,725
資本剰余金	19,655	19,655
利益剰余金	107,791	109,387
自己株式	△1,549	△1,544
株主資本合計	148,622	150,223
その他有価証券評価差額金	7,441	8,878
繰延ヘッジ損益	—	0
土地再評価差額金	1,267	1,267
退職給付に係る調整累計額	△1,162	△1,022
その他の包括利益累計額合計	7,546	9,124
新株予約権	157	157
非支配株主持分	2,791	2,866
純資産の部合計	159,118	162,371
負債及び純資産の部合計	2,300,832	2,656,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	38,154	37,606
資金運用収益	21,992	21,257
(うち貸出金利息)	19,087	19,025
(うち有価証券利息配当金)	2,306	2,201
信託報酬	89	79
役務取引等収益	3,881	3,878
その他業務収益	11,005	11,029
その他経常収益	1,185	1,361
経常費用	32,792	32,268
資金調達費用	1,077	432
(うち預金利息)	930	302
役務取引等費用	2,252	2,261
その他業務費用	8,825	9,417
営業経費	17,997	18,090
その他経常費用	2,639	2,066
経常利益	5,362	5,338
特別利益	0	1
固定資産処分益	0	1
特別損失	46	46
固定資産処分損	46	46
税金等調整前四半期純利益	5,316	5,293
法人税、住民税及び事業税	1,814	1,589
法人税等調整額	41	358
法人税等合計	1,856	1,948
四半期純利益	3,459	3,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	139	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,319	3,267

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,459	3,344
その他の包括利益	1,368	1,578
その他有価証券評価差額金	1,174	1,437
繰延ヘッジ損益	2	0
退職給付に係る調整額	191	140
四半期包括利益	4,827	4,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,686	4,845
非支配株主に係る四半期包括利益	140	77

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済への影響は当面の間続くものと想定し、特に当行グループの貸出金等の信用リスクに一定の影響があるとの仮定を置いております。こうした仮定のもと、当該影響により予想される損失に備えるため、足許の業績悪化の状況を考慮して行われた当第3四半期連結会計期間末の自己査定結果に基づいて貸倒引当金を計上しております。当該仮定は不確実であり、今後経済への影響が変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。

(6) セグメント情報

報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	26,005	8,531	34,537	3,362	37,899	△292	37,606
セグメント間の内部経常収益	573	74	648	1,599	2,247	△2,247	—
計	26,579	8,606	35,185	4,961	40,146	△2,540	37,606
セグメント利益	4,415	151	4,566	1,186	5,753	△415	5,338

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、信用保証業等であります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(7) (参考) 四半期信託財産残高表

(単位：百万円)

資産		
科目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
貸出金	1,062	959
その他債権	0	0
銀行勘定貸	18,742	15,503
合計	19,805	16,463

(単位：百万円)

負債		
科目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
金銭信託	19,805	16,463
合計	19,805	16,463

3. 補足説明

(1) 損益の状況【単体】

経常収益は、株式等売却益及び国債等債券売却益が増加したものの、その他の受入利息の減少などにより、前年同期比3億34百万円減少の265億79百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益が増加したものの、役務取引等利益の減少及び経費の増加などにより、前年同期比45百万円減少の55億83百万円となりました。

経常利益は、与信費用は減少したものの、コア業務純益及び有価証券関係損益の減少などにより、前年同期比9百万円減少の44億15百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比1億10百万円減少の28億58百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	2021年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	対前年同期比	2020年3月期 第3四半期 (9ヶ月)	2021年3月期 通期業績予想 (12ヶ月)
経常収益	26,579	△ 334	26,913	34,300
業務粗利益	21,672	△ 469	22,142	
資金利益	20,675	178	20,497	
うち投資信託解約損益	49	45	3	
役務取引等利益	1,127	△ 74	1,201	
うち信託勘定不良債権処理額 ①	-	-	-	
その他業務利益	△ 130	△ 573	443	
うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	△ 282	△ 514	231	
経費(除く臨時処理分)	16,372	90	16,281	
うち人件費	7,464	327	7,137	
うち物件費	7,627	△ 247	7,874	
実質業務純益	5,300	△ 559	5,860	
コア業務純益	5,583	△ 45	5,629	6,500
除く投資信託解約損益	5,533	△ 91	5,625	
一般貸倒引当金繰入額 ②	210	△ 498	709	
業務純益	5,089	△ 61	5,151	5,900
臨時損益	△ 674	51	△ 726	
うち株式等関係損益(3勘定戻)	60	229	△ 168	
うち不良債権処理額 ③	1,033	60	973	
うち信託元本補填引当金戻入益 ④	-	△ 35	35	
うち償却債権取立益	81	△ 17	99	
経常利益	4,415	△ 9	4,425	5,000
特別損益	△ 45	△ 0	△ 45	
税引前四半期純利益	4,369	△ 10	4,379	
法人税、住民税及び事業税	1,239	△ 218	1,457	
法人税等調整額	271	318	△ 46	
法人税等合計	1,511	100	1,410	
四半期純利益	2,858	△ 110	2,968	3,300
与信費用(①+②+③-④)	1,244	△ 403	1,647	

(注) 1. 実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

2. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益＋信託勘定不良債権処理額

3. 業 務 純 益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

(2) 預金等、貸出金の状況【単体】

① 預金等

預金は、これまでの個人預金を中心とした取引推進、法人取引先へのSR（ストロングリレーション）活動による取引深耕・従業員取引の推進に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う法人・個人の手元資金確保の動きにより流動性預金が増加した結果、銀行・信託勘定合計で前年同期比2,394億円増加（+11.44%）の2兆3,311億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)	(単位：億円、%)
	①2020年12月末	②2019年12月末	増減額 (①-②) (増減率)	③2020年3月末	増減額 (①-③) (増減率)
預 金 (未残)	23,311	20,917	2,394 (11.44)	20,834	2,476 (11.88)
うち 個人預金	14,579	13,340	1,239 (9.28)	13,263	1,315 (9.91)
預 金 (平残)	22,651	20,781	1,869 (8.99)	20,769	1,882 (9.06)

(注) 信託勘定を含んでおります。

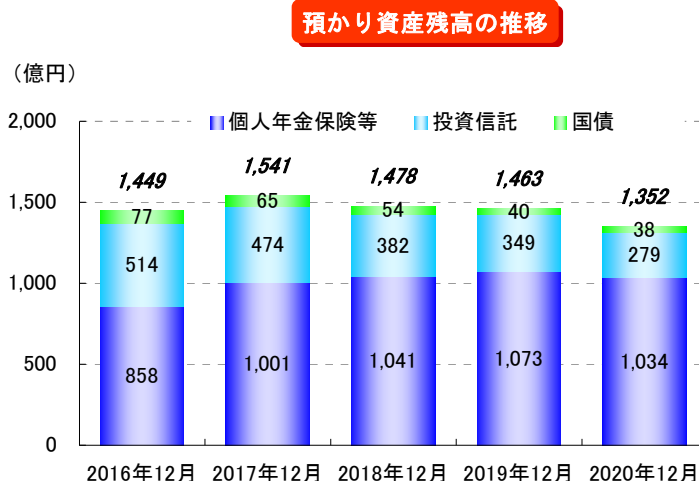


〔預かり資産残高〕

	(単位：億円、%)			(参考)	(単位：億円、%)
	①2020年12月末	②2019年12月末	増減額 (①-②) (増減率)	③2020年3月末	増減額 (①-③) (増減率)
預かり資産	1,352	1,463	△ 110 (△ 7.5)	1,333	19 (1.4)
国債	38	40	△ 1 (△ 4.7)	40	△ 1 (△ 4.2)
投資信託	279	349	△ 69 (△ 20.0)	280	△ 1 (△ 0.4)
個人年金保険等	1,034	1,073	△ 39 (△ 3.6)	1,012	22 (2.1)

《預かり資産》

※ お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。



②貸出金

貸出金は、これまでの生活密着型ローンの営業強化による住宅ローン・アパートローンの推進や、中小企業等に対する事業性評価に基づいた融資推進に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に対し中小企業等への積極的な支援に取り組んだ結果、銀行・信託勘定合計で前年同期比646億円増加（+3.97%）の1兆6,910億円となりました。

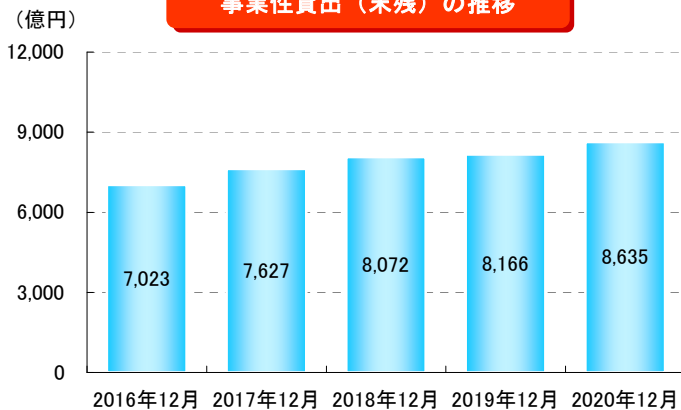
	(単位：億円、%)			(参考) (単位：億円、%)	
	①2020年12月末	②2019年12月末	増減額 (①-②) (増減率)	③2020年3月末	増減額 (①-③) (増減率)
貸出金 (未残)	16,910	16,263	646 (3.97)	16,521	388 (2.35)
うち事業性貸出	8,635	8,166	469 (5.74)	8,377	258 (3.08)
うち生活密着型ローン	7,003	6,915	88 (1.28)	6,964	39 (0.56)
うち住宅ローン	6,294	6,171	123 (1.99)	6,204	90 (1.45)
貸出金 (平残)	16,689	16,111	578 (3.58)	16,152	537 (3.32)

(注) 信託勘定を含んでおります。

貸出金 (未残) の推移



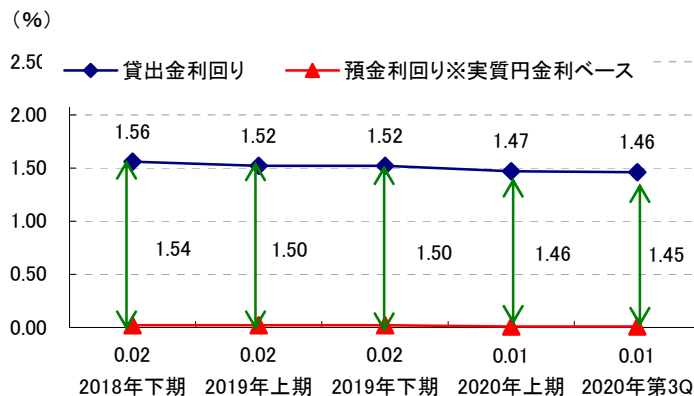
事業性貸出 (未残) の推移



生活密着型ローン (未残) の推移



③利回りの推移



(注1) 「2020/3Q」は第3四半期(10~12月)の会計期間利回り
(注2) 信託勘定を含んでおりません。
(注3) 預金利回りは、実質円金利ベースで記載しております。
※実質円金利ベース…予約(スワップ)付外貸定期預金において通貨間金利調整を行った後の実質円預金利回り

(3)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

金融再生法開示債権残高は、単体で前年同期比2億円増加の204億円、連結で前年同期比3億円増加の210億円となりました。開示債権比率は、単体で前年同期比0.03ポイント低下の1.20%、連結で前年同期比0.03ポイント低下の1.24%となりました。

開示債権比率は低い水準となっており、銀行の資産の健全性に問題はございません。

【単体】

(単位：億円、%)

	①2020年12月末	②2019年12月末	増減額 (①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	58	73	△ 14
危険債権	77	50	26
要管理債権	68	78	△ 9
開示債権合計	204 (1.20)	202 (1.23)	2 (△ 0.03)

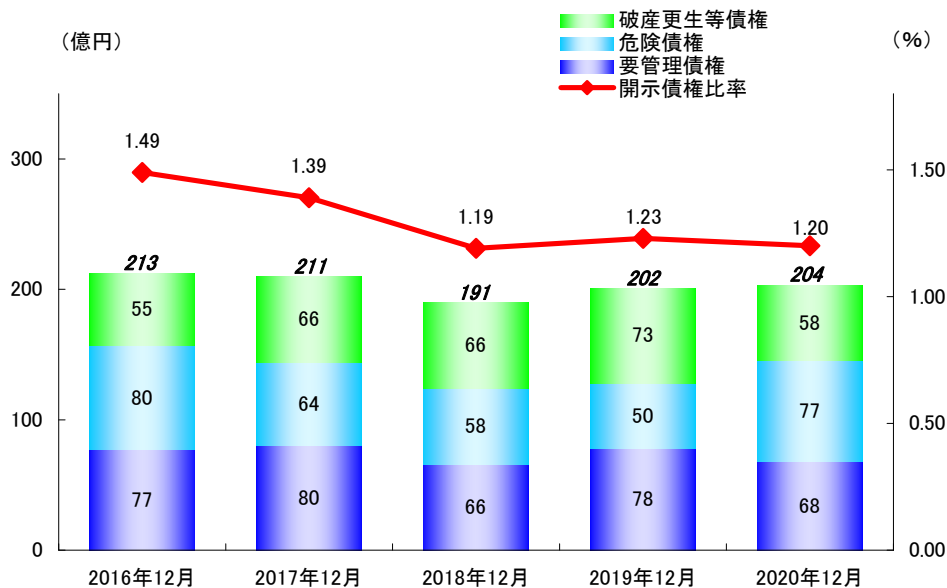
(参考)

(単位：億円、%)

	③2020年3月末	増減額 (①-③)
	55	3
	69	7
	77	△ 8
	203 (1.22)	1 (△ 0.02)

(注) 信託勘定を含んでおります。

金融再生法に基づく開示債権額・比率【単体】



【連結】

(単位：億円、%)

	①2020年12月末	②2019年12月末	増減額 (①-②)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	64	78	△ 13
危険債権	77	50	26
要管理債権	68	78	△ 9
開示債権合計	210 (1.24)	207 (1.27)	3 (△ 0.03)

(参考)

(単位：億円、%)

	③2020年3月末	増減額 (①-③)
	61	3
	70	6
	77	△ 8
	208 (1.26)	1 (△ 0.02)

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4)有価証券の評価差額【連結】

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含めておりません。

	(単位：億円)						(参考)			
	①2020年12月末		②2019年12月末		増減額 (①-②)		③2020年3月末		増減額 (①-③)	
	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益	帳簿 価額	含み 損益
満期保有目的の債券	107	9	108	10	△ 0	△ 1	108	9	△ 0	△ 0
債券	107	9	108	10	△ 0	△ 1	108	9	△ 0	△ 0

	(単位：億円)						(参考)			
	①2020年12月末		②2019年12月末		増減額 (①-②)		③2020年3月末		増減額 (①-③)	
	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額	時価	評価 差額
その他有価証券	4,067	126	3,881	167	185	△ 40	3,561	106	505	20
株式	176	77	187	87	△ 10	△ 10	181	66	△ 4	11
債券	3,521	37	3,168	56	353	△ 19	3,013	44	508	△ 6
その他	368	10	525	22	△ 157	△ 11	367	△ 4	1	15
うち外国債券	171	5	158	3	13	2	165	1	6	4

(注) 各四半期末の「含み損益」及び「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後・減損処理後）と時価との差額を計上しております。

その他有価証券の評価差額【連結】

